

## 第6回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会

日 時 平成20年6月19日(木) 午後7時00分～  
場 所 国分寺Lホール

### 議 事 次 第

1. 開会
2. 副市長挨拶
3. 議 題
  - (1) これまでの経過と今後のスケジュールについて(報告)
  - (2) まちづくり将来像(案)について
  - (3) テーマ別まちづくり基本方針(案)について
  - (4) その他
4. 閉 会

(配布資料)

- 第5回国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会議事要旨
- 資料6-1:今後のスケジュール(素案)
- 資料6-2:国3・2・8号線沿道まちづくり将来像検討の流れ
- 資料6-3:テーマ別まちづくり基本方針(案)と将来像(案)

第5回 国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくり協議会 議事要旨

【日 時】 平成20年4月22日（火）午後7時00分～午後9時00分

【場 所】 国分寺Lホール

【出席者】 協議会委員名簿参照（出席者21名）

副市長、市事務局7名、協力機関3名

傍聴者5名

（委員名簿）

（50音順・敬称略）

氏 名	所 属 等	区 分	備 考
饗庭 伸	首都大学東京 准教授	6号	
有賀 隆	早稲田大学理工学術院 教授	6号	◎
有吉 重蔵	国分寺市市民生活部長	7号	
稲垣 道子	(株) フェリックス 代表取締役	6号	○
岡部 利彦	戸倉自治会	2号	
神崎 高義	戸倉自治会	2号	
栗原 進一	内藤自治会	2号	
神山 秀雄	国分寺市商工会	4号	
児玉 規孝	武蔵台自治会	2号	
坂本 幸雄	公募市民（並木町在住）	1号	
高田 千恵美	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	
田嶋 正美	国分寺市都市建設部長	7号	
寺内 義典	国土館大学工学部 助教授	6号	
内藤 孝雄	内藤自治会	2号	
内藤 豊一	内藤自治会	2号	
中村 光利	内藤自治会	2号	
中村 安幸	東京むさし農業協同組合	5号	
樋口 満雄	国分寺市政策部長	7号	欠席
樋口 靖明	公募市民（東元町在住）	1号	欠席
藤木 妙子	公募市民（戸倉在住）	1号	欠席
船水 弘子	国分寺市立小中学校PTA連合会	3号	
保坂 剛	国分寺市清掃施設整備等担当部長	7号	
堀口 伊作	共益東部自治会	2号	
山根 衛	戸倉自治会	2号	

※ 1号委員：公募により選出された市民 2号委員：国3・2・8号線沿道地区関係自治会の推薦者  
 3号委員：国分寺市立小中学校PTA連合会の推薦者 4号委員：国分寺市商工会の推薦者  
 5号委員：東京むさし農業協同組合の推薦者 6号委員：識見を有する者 7号委員：国分寺市の職員  
 ◎：座長 ○：副座長

【事務局】

	所 属	氏 名	電 話
(幹事)	政策部 政策経営課長	内 藤 達 也	042-325-0111 内線371
	市民生活部 経済課長	加 藤 美 智 子	内線392
	都市建設部 道路管理課長	小 澤 昇	内線503
	緑と水と公園課長	荒 井 務	内線352
	建設課長	阿 部 崇	内線505
	環境部 環境計画課長	富 澤 守	内線438
	下水道課長	栗 原 修	042-300-0120
	教育部 学務課長	福 島 繁 雄	042-574-4040
(事務局)	都市建設部 都市計画担当部長	松 本 昭	042-300-1671
	都市計画課 都市計画担当課長	増 田 聡	"
	都市計画担当係長	池 田 昇	"
	都市計画担当	小 川 登	"
	"	三 田 俊 子	"
	"	橋 口 順 子	"
	"	西 尾 典 子	"
	(協力)株式会社建設技術研究所		

(都市計画課)

Fax  
E-mail

042-323-9060  
toshikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

## 【議 題】

1. 開会
2. 副市長挨拶
3. 新委員紹介
4. 議題

- (1) これまでの協議会等の経過について
- (2) まちづくり計画の構成と今後の検討の進め方について
- (3) まちづくり将来像（案）について

### 【主な協議内容】

#### (全般)

- いいみちをつくりたいということは委員の共通認識。
- 接道の話があったが、個別具体の解決策についてはこの場では決められない。この場はまちづくりの方向性を議論するところであると理解してほしい。

#### (将来像)

- 将来像の5つの視点について、土地利用は用途の見直し、緑・景観は植栽の配置など、具体的事例を示した方がわかりやすいのではないか。
- 将来像については挿花的になっており、それぞれの表現が具体的に何を指しているのか分からない。
- 「地域の活力」とあるが、そのためには用途地域を見直しが必要ではないか。
- 小中学校の教育環境が現在より悪くならないような視点も入れた方が良い。
- 砂川用水があるので、水環境も視点に含むべきではないか。
- 子供に重点をおいたテーマも入れてほしい。
- 将来像は的を絞って表現するなどメリハリが必要。テーマの簡潔化が必要。
- 通過交通が入りづらいまちだと謳っていくことも必要。

#### (その他)

- 恋ヶ窪駅へのアクセス、横断路を具体的に示す必要があり、その他に恋ヶ窪駅前の活性化も視野に入れた方がいいのではないか。
- 西国分寺は交通の要所で付加価値が高く、その周辺の安全・安心は最重要。

5. 閉会（事務局）

以上

### 国 3・2・8 号線沿道まちづくり将来像検討の流れ

#### 国分寺のまちの姿(状況)

1. 市外へ通勤・通学する住宅都市としての性格
2. 農村の構造を引き継いで、脆弱な道路基盤のまま市街化が進行
3. JR・西武線が行き交う多摩地域の交通の要衝
4. 史跡や農地等の豊かな文化・市街地環境を形成
5. 公園は少ないが、農地・樹林地などの緑は豊か

#### 国 3・2・8 号線の性格

- 国 3・2・8 号線の概要
  - 区 間：府中市武蔵台 3 丁目～国分寺市東戸倉 2 丁目
  - 延 長：約 2.5 km
  - 車 線 数：往復 4 車線
  - 道路幅員：36m (その内、環境施設帯 20m)
- 道路の性格
  1. 首都圏の広域的な環状道路の一角をなす主要幹線道路
  2. 多摩地域における南北方向の主要幹線道路
- 期待される整備効果
  1. 体系的な道路ネットワークの形成を図ることにより、交通の分散による渋滞緩和や交通の円滑化を促す
  2. 安全で快適な都市空間を創出し、地域のまちづくりの推進に寄与する

#### 沿道まちづくりを進める上での課題 (全体協議会・ブロック検討会の主な意見)

1. 土地利用
  - 今の住環境や生活環境に及ぼす影響が心配
  - 都市農地と住環境との共存について検討が必要
  - 地域ごとにある程度自由で変化があつて面白いまちにしたい
  - 活気のあるまち、人の集まるまちにしたい
  - 既存商店街の活性化を図ることが必要
2. 公共施設の再整備
  - 沿道周辺の既存道路がせまい
  - 生活動線を確保
  - 子供たちが安全に通学できる対策が必要
  - 誰もが安全に渡れる横断施設が必要
  - 緑が多すぎて見通しが悪いと防犯上問題
  - 国 3・2・8 号線の防災軸としての活用について検討すべき
  - 福祉施設や教育環境、子供に配慮したまちづくりが必要
3. 緑・景観
  - 国分寺の緑の特徴である屋敷林、樹林地を活かして欲しい
  - 砂川用水の利活用が必要
  - 沿道地域も含めたグリーンベルトの検討が必要
  - 土地利用やまち並みの特性を考慮した緑化方策の検討が必要
  - 市全体を見据えた緑の保全・創出が必要
4. 環境施設帯
  - 環境施設帯の整備には沿道の土地利用への配慮が必要
  - 地域コミュニティの活性化の場にすることも必要
  - 植栽管理を地域の力で行うことも必要

#### 沿道まちづくりの基本的な方向性

1. 道路整備と合わせ、地域の特性を活かした良好な沿道空間をつくる (国分寺市第四次長期総合計画)
2. 農地を保全するとともに、安全で心豊かに暮らせるまちをつくる (都市計画マスタープラン)
3. 公共施設の機能向上と連携の取れたコミュニティや、防災の中心となる空間をつくる (同上)
4. 多様な機能をもつ主要幹線道路の整備とともに、一体感のあるまちをつくる (同上)
5. 地域の歴史や水、緑などの資源を活用したまちをつくる (同上)
6. 環境施設帯と一体となった環境軸を形成する (国分寺都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針・環境軸ガイドライン)

#### 沿道まちづくりを考える視点

- (全体の視点)
  - 国分寺らしさ (B⑦)
  - 公の視点 (A⑥)
- (個別テーマの視点)
  - 住環境の快適性 (B⑧)
    - ・住み続けられるまち
    - ・良好な住環境の保全
  - 農 (を守る) (B⑥)
    - ・農住が共生するまち
  - 利便性・活力 (A①、B①)
    - ・自由闊達な発展ができるまち
    - ・活気のあるまち
    - ・歩いて楽しいまち
    - ・コミュニティの活性化
  - 交通安全 (A③、B②)
    - ・子供たちの安全を考える
    - ・生活道路の安全確保
    - ・生活動線の確保
  - 防犯・防災 (A②、B②)
    - ・子供たちの安全を考える
    - ・犯罪を誘発しない
    - ・災害に強いまち
  - 福祉 (B③)
    - ・誰もが暮らせるまち
    - ・ユニバーサルデザイン (バリアフリー)
    - ・子育てしやすいまち
  - 環境・水と緑 (A⑤、B④)
    - ・緑豊かなまち
    - ・緑との共生
    - ・緑のネットワーク
    - ・植栽管理は地域の力で推進
  - 景観 (A④、B⑤)
    - ・美しい街並み
    - ・まちと緑の調和
    - ・地区毎に方向性を決めて緑に配慮

#### 沿道まちづくりの基本理念

- ①「土地利用」
    - ・沿道やその周辺地域の市街地特性、環境特性を生かしつつ、環境負荷の小さい、持続的な発展が可能な土地利用を検討します。
    - ・沿道まちづくりによって、市全体が活性化するように、沿道の魅力や価値を高めるまちづくりをめざします。
  - ②「暮らし」「住環境」
    - ・都市農地と共生した良好な住環境の創出、新たに創出する緑と調和した住環境の保全に努めます。
    - ・誰もが暮らせる環境の向上など市民生活を豊かに
  - ③「活力」「交流」
    - ・道路ネットワークの形成による利便性の向上など道路の整備効果を楽しみ、市民が自由闊達に活動しながら、来訪者との交流を進め、活気のあるまちづくりをめざします。
    - ・生活動線の確保などにより、市民同士の交流やコミュニティの強化につながるまちづくりをめざします。
  - ④「安全」「安心」
    - ・安全な横断路の整備、通学路や生活道路の確保、防災まちづくりの推進、犯罪が起きにくい環境整備をすすめます。
    - ・高齢者や子どもたちの元気な声が地域に響く、安全・安心なまちをめざします。
    - ・ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進し、市民だけでなく来訪者にもやさしいまちづくりをめざします。
  - ⑤「緑」「景観」
    - ・道路とその沿道地域を、市域の南北に貫く「環境軸」\*と捉え、地域の特性に応じて緑や美しい街並みを創出します。
    - ・国分寺の原風景となる「国分寺崖線」や「玉川上水」などの地域資源の保全しながら、これらを結ぶ緑の都市ネットワークを形成します。
    - ・市民の協力のもとに、環境共生型の緑豊かなまちづくりをめざします。
- ※環境軸とは：  
公園緑地や道路、河川のみどりとこれら沿線のまちづくりで生まれるみどり等を組合せ、都市施設のみでは成し得ない厚みと広がりをもったみどり空間のこと

将来像  
人が躍る  
地域が輝く  
緑豊かなまちづくり

## 参考 1：沿道まちづくりの基本的な方向性

### ① 道路整備と合わせ、地域の特性を活かした良好な沿道空間をつくる

少子・高齢化、人口減少時代に入ることから、これまでのような通勤・通学が便利な住宅都市としての顔だけでなく、来訪者との交流や情報が行き交うようにぎやかで活力があるまち、住民同士が絆を深め、地域のつながりが感じられるまち、環境に負荷が少なく安全・快適に暮らせるまちなど、今後も住み続けたいまち、ふるさと国分寺づくりを推進するため、地域の特性を活かした良好な沿道空間を創出する。

(上位・関連計画における位置づけ)

- 「健康で文化的な都市 住み続けたいまち、ふるさと国分寺」  
(第四次国分寺市長期総合計画 将来像)
- 市の骨格軸にふさわしい沿道環境と地区の特性を活かした、より良好な沿道空間の創出を目指す。  
(第四次国分寺市長期総合計画)
- 都市計画道路の整備と連携した沿道の良好な市街地環境を目指す。  
(都市計画マスタープラン)

### ② 農地を保全するとともに、安全で心豊かに暮らせるまちをつくる

沿道地区は、現在も市街化が進行している地域であり、農地や樹林地の保全を推進していることから、このような環境と調和しながら、環境への負荷が少ない土地利用を前提として、安全で心豊かに暮らせる将来の土地利用の検討を進めるものとする。

(上位・関連計画における位置づけ)

- 豊かな自然環境と調和し、環境への負荷の少ない土地利用を推進する
- 国 3・2・8 号線の整備とともに、周辺の道路体系、地域分断や沿道環境への配慮、土地利用のあり方を検討する。  
(以上、都市計画マスタープラン)

### ③ 公共施設の機能向上と連携の取れたコミュニティや、防災の中心となる空間をつくる

沿道地区は、狭あいな道路や行き止まり道路などが存在し、災害に対して脆弱であることから、国 3・2・8 号線の延焼遮断機能を活用した防災軸を形成することで災害に強いまちづくりを推進する。また、国 3・2・8 号線の整備を契機とした地域住民のふれあい・交流の場づくりや活動の推進によるコミュニティの強化や生活道路などの公共施設の機能向上を図る。

(上位・関連計画における位置づけ)

- 国分寺 3・2・8 号線は、環状・放射方向の避難・輸送を担う幹線道路等により形成される広域的な都市構造からみて骨格的な防災軸と位置づけ、機能配置を行う。  
(国分寺都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針)
- 災害に強いまちの骨格となる沿道空間を整備する。
- 延焼遮断帯や避難・救援路としての機能をもつよう配慮し、適正な幅員を確保する。
- 公園や公共施設や農地を活かして、人と人とのふれあいの場をつくる。  
(以上、都市計画マスタープラン)

#### ④ 多様な機能をもつ主要幹線道路の整備とともに、一体感のあるまちをつくる

これまで国分寺市は、通勤・通学のための鉄道利用が進展してきた。今後、国 3・2・8 号線の整備により市内の道路ネットワークが強化されることになる。そこで、来訪者に対しての市内への受け入れやすさや、市内の移動円滑化を図り、利便性が向上した地域として一体感のあるまちづくりを推進する。

(上位・関連計画における位置づけ)

- 広域的な交通を支え、南北の主要な骨格軸として整備する。
- 地域の一体感を保つために、安全快適で緑豊かな歩行空間を活かして、地域の生活道路ネットワークづくりを進める。
- 誰もが安全に歩いたり、車椅子で移動できるゆとりある歩行空間を確保する。

(以上、都市計画マスタープラン)

#### ⑤ 地域の歴史や水、緑などの資源を活用したまちをつくる

これまで育んできた地域の資源や市街地環境を損なうことがないように、国 3・2・8 号線の整備にあたって十分な配慮を行う。具体的には、国分寺崖線や砂川用水、武蔵野の面影を残す都市農地や屋敷林との連携を図り、歩いて楽しい「こくぶんじ恋のみち」づくりを推進する。

(上位・関連計画における位置づけ)

- 水や緑、歴史の資源に触れ、散策ができる「こくぶんじ恋のみち」として整備する。
- 沿道敷地において、農地を活かしながら緑化を重点的に図るなど、水と緑の軸として環境に配慮する。

(以上、都市計画マスタープラン)

#### ⑥ 環境施設帯と一体となった環境軸を形成する

国 3・2・8 号線の整備を契機として、国分寺のまちの魅力の 1 つである民地内の緑のあり方について、市民と一緒に考える機会であることを PR し、地域への関心を喚起する。その上で、国分寺市内の緑のネットワークの骨格となるよう、環境施設帯と一体となった環境軸の形成めざす。

(上位・関連計画における位置づけ)

- 環境施設帯への植樹帯の設置などにより、豊かな街路樹と広幅員の歩道を有する快適で環境にやさしい道づくりを進め、公共空間を活かした新たな緑の骨格形成を図る。

(国分寺都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針)

- 環境施設帯と沿道が一体となったみどり豊かで良好な沿道空間を創出する街並みづくりを行う。

(環境軸ガイドライン)

- 沿道の土地利用が更新される機会を捉えて、道路空間と沿道の土地利用が調和した統一感のある美しい街並みを形成する。

(東京都景観審議会)

- 緑豊かな都市空間の骨格となる街路樹、植栽を充実させる。

- 沿道敷地において、農地を活かしながら緑化を重点的に図るなど、水と緑の軸として環境に配慮する。(再掲)

(以上、都市計画マスタープラン)

## 参考2：沿道まちづくりを考える視点

第4回全体協会で検討した目指すべき将来像と今回提案する沿道まちづくりの基本理念との対応は以下のとおり。

<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#f96;"></span> 土地利用を始め、すべての基本理念の基本となる視点	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#90ee90;"></span> 基本理念④：「安全」「安心」に対応
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffff00;"></span> 基本理念②：「暮らし」「住環境」に対応	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#90ee90;"></span> 基本理念⑤：「緑」「景観」に対応
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ff69b4;"></span> 基本理念③：「活力」「交流」に対応	

### 視点①：利便性・活力

- ・ 色々な店（クリニック等）が出来て交流することで地域の活性化につながる
- ・ 規制をしない自由なまち（ある程度自由）生活の利便性を（ゾーニング）を上げる
- ・ お年寄り、子供など多様な世代を応援（子育ての人のためのお店がある）
- ・ のびのびできる、歩いて楽しいまち、ジョギング・散歩などで使える
- ・ コミュニティの活性化、活気のあるまち
- ・ まちと緑の調和
- ・ 緑があって住宅ばかりでなく色々な暮らしを支える為の店があるまち
- ・ 通過する方の立ち寄ることもあるけど、沿道に住む方のための土地利用
- ・ にぎわいの使い方(商業/居住)を整理すべき

### 視点⑥：公の視点～空間のつくり方～

- ・ 道路が出来てから考える可能性も残して欲しい（自由も必要）
- ・ 清々しい開放感などという大きな想像
- ・ 駅へのアクセス
- ・ 東西の分断が大きいので適宜、横断させることも大切
- ・ 郊外型の大型店舗がくるような可能性はかなり厳しい

### 視点②：防災・防犯

- ・ 逃げ道と救助に利用する時の使い方のバランスを図る
- ・ 歩道の使い方（災害時や防犯対策）が重要
- ・ 歩道は分離せずに使える方が防災上は良い
- ・ 現況の道路で細い道路について安全を考えるのも必要
- ・ 防災軸とつながるまちづくりの部分は、間口を広くとることで対応
- ・ 細い道路は防災の面から間口を広げることが大事
- ・ 子どもたちが安全でのびのびできるまちづくりということで、沿道に広い公園をつくってほしい（避難場所にも活用できる）
- ・ 防災は平常時と非常時を分けて考えるべき

A班の考える将来像は・・・

**自由なくらし・環境への調和に配慮した可能性のあるまち**

[キーワード]

- ゾーニングとのイメージを持つことが大事
- バリアフリー
- 開放的で生活と関わる道路
- 高齢社会に対応した道路（子供にも安全）

### 視点⑤：環境（生活環境含む）

- ・ 緑豊かなまち、緑のネットワーク
- ・ 雑草とりなどのメンテナンスは地域の方で
- ・ 相続の時に緑が減るのはせつない
- ・ コミュニティ形成の面から店舗も必要
- ・ 建物と緑との調和（ゾーニング）
- ・ 高度利用/拠点
- ・ 国3・2・8号線を活かした周りのまちづくり
- ・ ミニ開発を地区計画で規制
- ・ 開発行為等指導要綱だけでは不十分

### 視点③：交通安全

- ・ バリアフリーを第一に
- ・ 交通安全宣言市
- ・ 安全・安心
- ・ 子供からお年寄りまで・マナーの向上も大事
- ・ 利便性と安全性のバランスのとれたまちづくりが重要
- ・ 信号のバランス（平面交差）右左折の処理
- ・ 学生が多いところは自転車も多いので対応した道路
- ・ 交差点間に1箇所程度の横断歩道が欲しい←東西連絡
- ・ 混雑（渋滞）しない道路（工事やメンテナンスが原因で混むのは嫌）
- ・ 横断歩道は動線的に必要（100～150m毎に）
- ・ 横断歩道は最小限でよい。トラック等の停止、発進により騒音が発生する

### 視点④：景観

- ・ 美しいまち
- ・ 武蔵野の面影
- ・ 出来上がって“良かったな”となる大テーマの設定が必要
- ・ 一定の自由度も必要
- ・ 地区計画でミニ開発などを規制（500㎡以上：条例，500㎡以下：指導要綱）
- ・ 住・楽などゾーニングを導入し、バランスのとれた街並み
- ・ 高い建物でも、緑に配慮したものを作っていけば良い
- ・ 地区ごとの方向性（ゾーン）を決めて緑に配慮
- ・ 道路自体で緑が分断されるので緑地帯は、統一のとれた（バランス感）緑であるべき
- ・ 街路樹について、将来の子どもたちの誇りになるような、桜の並木が欲しい
- ・ 農地利用の方針をふれておくべき



土地利用を始め、すべての基本理念の基本となる視点	基本理念④：「安全」「安心」に対応
基本理念②：「暮らし」「住環境」に対応	基本理念⑤：「緑」「景観」に対応
基本理念③：「活力」「交流」に対応	

**視点①：利便性・活力**

- 賑やかなまち
- 賑わいの創出
- 活気のあるまち
- 交流空間
- 賑わいについては、部分的に必要なところもあるので、活力という言葉でどうか
- 移動のしやすさ
- 人が集まる
- コミュニティの活性化

**視点⑧：住環境の快適性**

- 住み続けられる
- 暮らしやすい
- 歩いて楽しいまち
- 歩行者と自転車を大切にしたいまち
- 緑と景観だけでなく、住環境の快適性も必要
- 住環境の保全
- 良好な住宅地

**視点⑦：国分寺らしさ**

- 歴史文化
- 誇りを持てる
- 品格のある
- 武蔵野の面影
- 武蔵野らしさではなく国分寺らしさをどう作るか
- 武蔵野の原風景
- 国分寺らしさ
- 静かなまち
- 環境にやさしい

**視点②：安全・安心**

- 防災・防犯
- 交通安全

- 通り抜けができないまち
- 自転車利用のしやすさ
- 子供たちの安全
- 移動のしやすさ
- 犯罪を誘発しない
- 防災軸
- 災害に強いまち
- 緑が多くなると暗くなるので、ただ、緑をつなげばいいというものではない（夜の通勤・通学で人気がないのは問題）
- 交通問題が重要（市街地や周辺は道路がすべて分断される対策）。
- 国分寺には、大きい道と細い道しかない、それを繋ぐ道路も必要
- 生活道路を脅かされないようにして欲しい
- 交通体系を考えるべき（Uターンの問題）

B 班の考える将来像は・・・

**くらし・環境・豊かさ・いきいき・輝く**  
**+**  
**〇〇をつなぐみち・はぐくむみち**

[キーワード]

- 〇まちの価値を高める
- 〇人のつながりを育むまち
- 〇幹線道路とくらしの共存
- 〇国分寺市民のためになる道路
- 〇良好な住環境のもとで豊かなくらしが続けられるまち
- 〇歩いて楽しい歩道
- 〇新たな出会い
- 〇国分寺に住みたいと思うまち
- 〇大学通りのように

**視点⑥：農（を守る）**

- 持続可能な発展
- 農住が共生する
- 農の緑をどう考えるか

**視点③：福祉**

すべての人にやさしい

- 子供からお年寄りまで
- バリアフリー
- 子育てしやすいまち
- 安心して安全に子供からお年寄りまで暮らせることも必要（福祉も含む）

**視点④：水と緑**

- 緑のネットワーク
- 自然を満喫
- 緑との共生
- 緑の美しさ
- 緑豊かなまち

**視点⑤：景観**

- まちと緑の調和
- 美しいまち街並み
- 景観と緑の美しさが重要。
- 建物、サイン、緑がすべて美しいと感じるものにしたい
- この道に入ったら、あぁいい道だというものにしたい

## 今後のスケジュール(素案)



